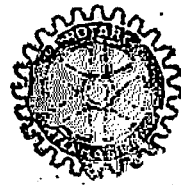


1968 ~ 1969

委員会活動報告書



鹿児島西ロータークラブ

1969. 6. 19

事

## 会長報告

1年をふりかえって

会長 鮫島志勇太

任期あと10日間。いま私は自省の時真に立っています。不完全な私が、この1年間に、傍観して過すのではなく、飛び込んで、選振し、行動し、少しでもクラブのため、あるいは誰かのため、何かをする「務め」と与えて下さった会員の皆様には、すなわち感謝できる気持ちになっております。

おかげさまで、私のよびかけました年間方針の第一である「会員増強」は、新しく19名が加入し、4名の退会を差引いて59名の陣容になりました。特に24名の新会員を最年少としてクラブが若さに満ちてきたことは、クラブの質的内容とくに活動分野に、新時代の光りをもたらすでしょう。第二の「友愛を深めてクラブを家庭のようにしましょう」という方針は、出席率の高さ、ビビターの増大、ミーチングの盛大さなどが証明しておりますように、クラブの伝統として実践されていると信じます。第三の「上級会合の出席をふやそう」という方針は、理事会の「ケイス・バイ・ケイスによって出席奨励の援助策を講ずる」という決定が、すでに実行されていりますので、今後好成績とあけるものと信じます。

新会員の3分間スピーチも、実行してみますと予想以上の好評で、親睦と会員意識の向上などに役立っていると思えます。いつもは、だまっている人たちが、一人立ち上れば、実に主流である

ことがわかります。ローリー賞、街灯寄贈などの奉仕活動や、野球試合の優勝も、委員会の活動を示している証拠で、地域社会の明るい話題となりました。

これから、すべては柴山昇平を始め、役員・会員皆様の奉仕的協力のたまものであると、心から感謝を申し上げます。

今後は、クラブとして何か特色をもつこと、そして、奉仕の理想を実行するにしても、日本の、鹿児島島の風土や文化パターンに立脚した地域住民に受け容れやすいやりかたを創造できたらなあ……と思う次第です。私は各種ローリーの会合に出てみて、日本のローリーがアメリカのイミテーションに終ってはなまじい、という感を深くしております。

113113 ありがとうございます。

## 幹事報告

幹事 柴山一雄

### 1. 本年度会員数

(1) 初顔会員数	44名
(2) 退会者	4名
(3) 入会者	19名
(4) 現在会員数	59名

### 2. 出席率

43年7月 100% 8月 100% 9月 100% 10月 100%

11月 100% 12月 100% 44年1月 99.55% 2月 100%

3月 100% 4月 100% 5月 99.30%

平均 99.90%

### 3. 予算

本年度よりニコニコ箱と一般会計より別にして 純然たる奉仕活動に使用するようにした。

奉仕活動予算がクラブ全体に占める割合は 13.3%である。

### 4. クラブ内会合

- (1) クラブ協議会 (クラブアドバイザー) 7回 (6月19日を含む)
- (2) クラブ討論会 (クラブフォーラム) 1回ナ(6月)
- (3) 炉辺会合 (ファイヤ・サイト・ミーティング) 1回ナ(6月)

### 5. 共同事業

次の行事を他クラブと共同で行なった。

- (1) 交換学生受入 (国際奉仕専)  
之は来年も継続を期す。
- (2) ワンダーフォーゲル運動に協力 (青少年奉仕専)  
本年度は当番クラブとして 宿舎の設備運営に努力した。
- (3) 県内9クラブ親睦ソフトホール大会 (親睦専)  
当クラブ優勝のため、来年はホストとしてお世話することに企てる。

## 会計報告

### 会計 岡山 栄

1. 本年度は会員19名の入会により、入会費及び年会費の収入増加があり、各委員会のご協力でも支出面を概ね当初予算の範囲内で成果をあげられましたので、財務の基盤は飛躍的に強化されました。

又、1月以降会費350円を500円に値上げせし、会員より追加徴収したものを特別会費収入として計上しましたが、

会費の支出も増加しました。

2. ニコニコ箱収入は、本年度から別途会計とするこじになり、その収入の一部をロータリー賞(社会奉仕)補助として一般会計に繰入れました。
3. 自43.7  
至44.5 向の収支状況は別紙の通りであります。前年同期に比べて次の通り繰越金が増加しています。

一般会計繰越金	前期	277 <sup>千円</sup>	当期	461 <sup>千円</sup>
基金特別会計	"	136	"	268
ニコニコ箱	"	0	"	73

## クラブサービス報告

会務担当 安楽慶一郎

年度初頭の会長の方針である会員増勢、友愛については、クラブ全体の努力によって推進された。結果として会員15名増加、ソフトボール優勝、総勝会という予定外のものがでた。

後半期において「地区内におけるクラブ例会以外の会合になるべく出席するよう」に要請されたが、仲々実績が挙らないので今後の検討問題であらう。

3月、クラブフォーラムを行ない、クラブサービスについて討論を行ない、「お互に知り合う機会を増すよう努力しよう」という機運が高まり、新入会員の3分間スピーチを行なうことになったが極めて有益であるので今後之を更に拡大して行くようにしたら良いと思う。

に協力した。

- 4) 市内のクラブ合同で鹿見島V-9-アクトクラブを結成し  
その後の例会に出席する等 其の育成指導に努めた。
- 5) V-9-アクトクラブ、イ=7-アクトクラブの会員との交流  
について 今少し努力が足りなかったことを反省して  
いる。

## S A A 報告

SAA 光吉正昭

副SAA 外西寿彦

1. 例会の雰囲気になごやかなものとするため、V-7-1-  
ソング以外の歌を追加し又座席の配置を変える  
等努力した。
2. ニコニコBOXを通じて 会員相互の理解と親睦を  
深め、併せて増収に努力した。

## 職業分類委員会報告

委員長 春山 マステン

委員 牧田 健二

小池 鉄太郎

1. 充填、未充填職業分類表を作成した。
2. 今年度は右記の新入会員がおりました。

永田良司、堀井秀志、岩元基、瀬上一郎、

片平敦、新福均、小園正人、7名

上記の新入会員で下記の職業分類を充填した。

書籍配布、団体保険、繊維サービス、長期金融、

雑貨輸出、文房具配布、ガラス配布。

### ロ-94-財団委員長

委員長 池田広

1. RI財団の寄付金額は年度末で14万ドルで  
現在200%クラブであるが後16万ドルで300%  
クラブになる。尚、その中で百万ドル食事4回(11月、1月、  
3月、5月、1回づつ)で得た金額は1万2千ドルで他に  
わずかながら寄付があった。
2. RI財団のスポンサーで研究グループの一人として  
当クラブから南日本新聞社の大園純世君が渡米。  
多大の収穫を持ち帰国した。
3. 一橋大学の片平研二君が財団基金により当クラブ  
より米国に留学する。
4. RI 646地区研究グループの当地受入会は5月9日  
より5月14日までに行なわれた。
5. RI財団週刊に大津地区財団委員長の卓話をお  
願いした。

## 出席奨励委員会報告

委員長 川路 清高  
委員 黒木 長太郎  
" 池田 広

1. 会長 幹事 情報委員長の熱意によつて、ほとんど100%の出席率を保持出来たことを感謝していす。
2. 1.2の方のメ-フアップが滞りがちで苦勞しました。  
「ロータリーは出席することに始まる」をねと理解していただくため、電話したり礼を失したのではないかと反省していす。
3. 異例ともいべき多くの新入会員がありましたにもかかわらず好出席率を上げたことをクラブのために喜んでいす。
4. 要するに良い出席率のもとでは委員会は衆を役目でした。

## 職業分類委員会報告

委員長 林 幸夫  
委員 河井 時義  
" 高網 博明  
" 森川 盛満

新会員の入会のために、職業分類表を2回にわたり作成し、会員選考委員会に協力して頂いた。

## 会員選考委員会報告

委員長 土橋 英夫  
委員 島津 忠丸



## 基本方針

1. 他の委員会就中職業分類委員会との連絡を密にし、クラブの充填及び未充填職業分類の一覧表を検討し、且つ開放された職業分類を充填するよう適当な人物を理事会にすいせんする。
2. 会員の選考に当っては情実を排し、厳正を旨とし、その人と成りに重点を置いて個人の品性と出席可能性を重視する。
3. 以上を調査判定の結果を理事会に報告する。

## 計画

1. 年間会員増加目標 10%以上を計画してゐる。

## 実績

1. 会長の本年度への努力目標である会員の増加、それに本年度かう新たに設けられた会員推薦委員会の発足と相まって、目標の10%増をはるかに上まわる15名の増加実績を記録した。
2. 当初会員数44名、入会19名、退会4名 結局15名増加、現会員数59名となった。これは当初の134%にまゐる。
3. このようなことは、当クラブはじめての記録であつて、会長の適切な指導によることは勿論であるが、関係各クラブ員の努力が実を結んだものとして喜ばせたいと思ひます。

## 会員推薦委員会報告

委員長 小山 幸義

委員 林 幸光

上半期に多くの新入会員を獲得して、下半期はやや低調であったことを、お詫い致します。

昇解が多くなりすぎますが、西クラブ区成は、主として住宅地域で卒業所が他クラブに比べて少ないのも、メンバーを獲得する際の一つのハンディになっているようです。

新入会員の入会は、殆んど各会員の熱意の成果によるものが多く、推薦委員会としては、実際面での行動が無かったこと、重ねてお詫い致します。

## プログラム委員会報告

委員長 新福 崇熊  
委員 福田 敏之  
" 小山 幸義  
" 池田 稔  
" 竹内 守己

### 報告

奉仕の精神に則り、クラブの精神と徹り込んて全員が喜んで  
きけるようなプログラム編成に努力してきた。

内容は出来だけ バランスと バライティーを保ち 品格、有益、  
親和感、ユーモアのあるものを選定したつもりである。

クラブの役員や会員と出来る限り密接な連絡を保ちつつ卓話者の  
開発を心掛けてきた。

ここにいつも援助して戴いた会員会員に対して心から感謝の  
言葉と申述べたい。

### 卓話実績

1. 次に記載した通りであって、ゲスト 50%、会員 36%、

映画 14%であった。

会員の卓話が36%だったことは有難い。

2. 予定以外の例会より少くとも1ヵ月前には卓話者が選定できたようである。

月日	ゲスト卓話			会員卓話	
	題目	職業	氏名	題目	氏名
43. 7.4				クラブ協議会 (新会長幹事挨拶 新委員公活の方針発表)	
11	車2輪の養殖と将来	鹿水産試験場長	茂野和彦		
18	最近の電信電話事情 について	鹿電話局長	渡辺新吾		
25	帰国招待及びスライト	文相室長	フリスター アリー		
8.1	鹿刈島市の街路樹	鹿大農学部教授	初島住彦		
8	(映画) ある陶磁器の楽譜	南日本放送提供			
22	人権について	鹿地方法務局長	堤武四郎		
29				リーディングアップフォーラム出席報告 (会長 高田 田平) 及び 炉辺会合	
9.5	気象災害について	鹿地方気象台長	出淵重雄		
12				クラブ協議会	
19	(映画) 都市決断の時	南日本放送提供			
26				婦人科医の手階から	外西寿彦
10.5				観月家族会(城山観光ホテル)	
12	労働力問題と 所得政策	鹿経大教授	広崎真八郎		
24				クラブ協議会 地大大会出席報告(会長 新島)	
31	鹿刈島市のビジョン	鹿大助教授	吉野正治		
11.7	県庁と県民	鹿県県民課長	松林康文		

11.14	(スライド) 国際理解のための取組				
21					クラブ協議会 (大津ガバナー公式訪問に前)
28	心身障害児について	鹿大教授	斉脇保		
12.5					クラブ協議会 地区大会出席報告(宮井・川村)
12	公式訪問に際して	第3732ガバナー	大津篤造		
19	精神薄弱児施設 の紹介	あさひの丘学園長	水流国彦		
26					クリスマス家族会(鶴鳴館)
1.9	これからの市政	鹿児島市長	末吉利雄		
16	とりの話 (とり年にならば)	鴨池動物園長	泊朝男		
23					クラブ協議会 上期の反省及び上期決算報告
30					見て来た外国の旅館 小山幸義
2.6	鹿大の現況と将来計画	鹿大学長	町野碩夫		
13					近海海亀政策と 鹿児島港について 下野隆三
20	(映画) ハイウェイ維新	南日本放送提供			
27	高雄東RCと 姉妹クラブを結んで	鹿南RC会長	下茂嘉男		
3.6					クラブ年度総会 (次年度理事選出)
13					学生運動0.8の現状 現在の学生運動 倉園清市
20	市民安全課の仕事について	鹿市市民安全課長	緒方文義		
27					クラブ創立6周年記念 33回ローリー参詣 後援者代表表彰
4.3	(映画) 生きてゐる日本列島	日本生命鹿大支店提供			
10	青汁の効用	鹿青汁友の会会長	副島敏清		
17	空港の開港効果	鹿経大助教授	高橋良宣		

4.24				クラブ討論会 (クラブ奉仕部門)	
5.1				今日の子供の絵について	小池鉄太郎
8	雇用サービスコーナーの設置	鹿公共職業安定所 取寄紹介課長	福山 豊		
15	(映画)品質で売る	日本生命鹿支社提供			
22	工芸品の現状と将来	鹿市商工芸研究会	喜入 巖		
29				乗用車の普及速度について	福田 稜
6.5	(スライド) 私のふるさと紹介	交換学生	ビバリー・スウ ガエン		
12	道路について	鹿県道路課長	別府 卓		
19				クラブ協議会 各委員会年向報告の取組協議会	
26					池田 稜

## 広報委員会報告

- 委員長 牧田 健二
- 委員 塘 一郎
- " 桜葉 四郎
- " 小池 鉄太郎

広報委員会は、ロータリー精神とクラブ活動の情報と、一般の人々に提供し、ロータリーに対する社会の認識と理解を深めることに努めたが大体当初の計画どおり行なわれた。

クラブの活動、行事並に役員人事について、報道機関に資料と提供し、度々新聞に報道された。

- ① 創立6周年記念祝典 (3月23日)
- ② 鹿島島西ロータリークラブ、ロータリー賞贈呈 (3月23日)

長年社会奉仕活動と続けておられる人々にロータリー賞を贈呈した。

## 鹿野島果生（わか）学園の44号

### ③ 当クラブによる優良従業員表彰（3月23日）

各事業所で模範となって長年働いている優良従業員8人を表彰した。

### ④ 6年連続出席会員12名、5年連続出席会員1名を表彰した。（3月23日）

⑤ 防犯灯建設のため、武町内会に社会奉仕委員会より3万円を寄贈し、市長より感謝状を贈られたことの新開発表。

### ⑥ 昭和43年度当クラブ会長外役員、昭和44年度会長外役員の新開発表。

その他、報道機関を招待し、ロータリー精神とクラブ活動の情報を提供した。

### ① 県内6RC新会員懇話会

② ロータリー取組の事業活動の一環である研究グループ交換による派米チーム団員として、南日本新聞社大園純也記者を推薦することに決定した。

③ 鶴岡市庄内鹿野島会の来賓にあたり、鶴岡RC海東氏夫妻が来られたので、当クラブより10名の会員が出席し、メッセージと記念品を鶴岡RCへ贈呈した。

## 親睦委員会報告

委員長	浜田	馨
委員	藤安	辰造
"	久保	政次
"	増竹	成紀
"	外西	寿彦
"	福田	稔

委員 平原定一郎  
" 渡辺 匡

## 基本方針

親睦こそローターの原動力であるとの信念のもとに、S.A.Aと連絡を密にし、会員並に家族の親睦の機会を創るよう努力する。

## 業績

1. 年度の当初に於て委員会を開き、夕食を共にし乍ら本年度のやりかたに就いて懇談し、大いに親睦を深めた。
2. 毎月第一例会日にその月の誕生者に誕生祝、結婚祝の記念品を贈り、尚、誕生者にはバースデーソングを歌い祝福した。
3. 昨年10月5日午後6時から城山観光ホテル庭園に於て恒例の親月家族会を開催した。(参加者会員38名 家族53名)
4. 昨年12月1日吉野ゴルフ場に於て、当クラブ第4回ゴルフ大会を開催した。(参加者12名)
5. 昨年12月26日午後6時から恒例のクリスマス家族会を鶴鳴館に於て開催した。参加者141名、内会員53名 家族72名 招待者16名(内インターアクト12名)で盛会であった。
6. 2月中の例会に、鹿児島大学 有馬万里代先生を迎えローターソングの指導を受けた。
7. 5月5日県下ロータークラブ親善ソフトボール大会に出場(参加クラブ9チーム)し見事優勝の栄冠をから得た。  
5月8日優勝祝賀パーティーを南園ビル屋上で開催した。
8. 5月10日当クラブ第5回ゴルフ大会を吉野ゴルフ場で開催した。(参加者9名)

## ローター情報委員会報告

委員長 衛藤右三郎  
委員 倉園清市  
" 西御隆永

1. 新会員の入会者が多かつただけに、ローターアンビとしての在り方についての資料提供、判り易い説明と等一にと、色々とお強さを示した。
2. 新会員へ配布する諸文献、情報源印刷物の配布と、ローター精神、ローターの歴史、綱領への理解、其他の話し合いと出来るだけ持つことにつとめた。
3. 反省。— もっと積極的に活動すべきであった。新入会員と各週の例会へ早目に出席(20分、30分宛でも)お互い意見を交換するとか、不充分であった事等痛感している。

## 会報・雑誌委員会報告

委員長 川村 洋  
委員 徳田 基  
" 川上鉄太郎

### 業績

1. 週報の発行。
2. 創立5周年記念特集の発行。
3. 例会において「ローターの友=ニュース」による「ローターの友」の主要記事紹介。
4. 「ローターの友」について会員に対するアンケート実施。

### 反省

1. 週報について。



現在のガリ判では事務局の負担過重につき、次年度より印刷にしたい。新会員の紹介等ともっと詳細にすべきであった。

2. 「ロータリー」の友に因する会員の団心と高めよための努力が不足であった。

## S. A. A. 報告

S.A.A. 幸泉 芳良

副S.A.A. 光吉 正昭

1. 会員の増加と友愛を高めようという会長の呼び声で当クラブ会員も59名になり、又、ビジターも多数訪問いたたいている。会場のテーブルの配置を変更し、多くの人を受け入れられるようにした。
2. 例会と気楽ななごやかなものにする。ロータリーソング「奉仕の理想」「我等の生業」「手に手つないで」「それではロータリー」ほかに「箱根の山」「赤と人国」等歌集をふやした。
3. ニコニコ箱の活用については、今後共尚一層研究し善処したい。

## 職業奉仕委員会報告

委員長	高田	光義
委員	米倉	秀雄
"	栗川	久雄
"	高	義朗
"	中山	和春

職業奉仕は、ローリーの活動の中では文字通りに重要なことである  
のだから、この委員会の活動はどのようにも広げらるであらうと当初  
は気軽に考えていました。所が、扱って現実の活動とどのように  
行動するかという段になりました。恰も虹の下をくぐろうとして  
くぐれないが如く、漢としてはつまり出来なかったというのが一昨年  
と経った今日での反省であります。

幸に昭和43年8月23日熊本で九州3区リーグシップフォーラム  
が開催されましたので之に出席しました。タイミングよく次の週8月  
29日にマイサイトミーティングが開催されましたので、上記の報告と兼  
ねて委員会の活動の方向づけをどうしたらよいかと改めて問題と  
して提起して、会員各位の活発な意見を承りました。

その結果とヨ小身近かに先ず職場訪問をすること、新に職業  
に就く若い高校生と話し合う機会をつくることを立案しました。

44年1月30日会員の職場を一行6名で訪れ、四つのテストの  
額を贈りました。

訪問先の会員の方が高令に不拘熱心にその取場を今日の  
姿の繁栄にまで育て来られた体験と取場の中で承って改めて  
その人柄の中に輝く職業の尊い結晶を仰ぎ見る思っていました。

同日、鶴丸高校に一行3名で訪れ、就取予定の女子高校  
生に取場、職業について懇談しました。

例年行う優良職業人の表彰は、本年は会員の取場から推  
薦して頂き、詮考の結果、当クラブ6周年記念例会日3月27日  
に8社8名の人をゲストとして招き表彰式を行いました。

## 社会奉仕委員会報告

委員長	岡元健一郎
委員	岩元健吉
"	木原良
"	下野隆三
"	有園敷男

本年度実施した仕事

1. 鹿児島県年末たすけあい運動援助
2. 水俣病患者援助
3. 身障者安全運転友の会援助
4. 武所内会へ防犯街灯 10基寄付

鹿児島市市民安全課を通じて斡旋してもらったが、この際鹿児島市とあかろくす運動会とを市民安全課長から卓話として聞いたことは有意義であったと思う。

### 5. ローター賞表彰援助

ローター賞推薦委員会から推薦された候補者の表彰にあたって援助をした。

反省

地域内の福祉、公共、教育、保健事業の実態との接触をさらに密接にしていきたいと思う。

## 青少年奉仕委員会報告

委員長	田平礼章
委員	春山浩ステン
"	若松新一
"	桜妻義明

1. ワンダーフォーゲル運動の鹿児島地区支部クラブにあり、宿舍の設備、運営に努力した。
2. 之の間に於けるインターアクト連絡協議会に参加し、合同キャンプした。
3. 熊本でのリーダーシップフォーラムに出席。
4. 鶴丸インターアクトクラブに「できた英語会話」のレコードを寄贈。
5. 同インターアクトクラブと交換学生と招待して、春山夫妻による英語会話の会を行なった。
6. 職業奉仕委員会が主催した鶴丸高校での職業指導に協力した。

### 国際奉仕委員会報告

委員長	久保田 彦穂
委員	岩田 太一
"	岩元 正二
	中村 善治
	土谷 久雄

1. 交換学生 12回例会に招待
2. 交換学生 オリエンテーションのため熊本に一名派遣
3. 交換学生 (オーエン嬢) の誕生祝。
4. 交換学生 地区内旅行 歓迎レセプション。
5. マッチクラブに本クラブ 春山氏夫人の南日本新聞へ掲載した(思うこと)の原稿をおくる。
6. 万国博分担金 9万8千円を引く。

7. アメリカの家庭生活の映画 (例会において)
8. 下茂氏を招き台湾の現状をきく。
9. ローター財団寄付金 200% 達成。
10. 第373区のローター財団奨学生募集候補に、当クラブ推薦の片平研二君 (一橋大学4年) 決定。 (同君は鶴丸高校インターアクトクラブ初代会長)
11. 研究グループ交換の漁業チーム団員に当クラブより大園純也君 (南日本新聞社政経部記者) を推薦。
12. 宮崎西クラブに来ていたカール・バックハーバー君は、当クラブと友好関係にあるボールストンスパーククラブのスポンサーであるので、同君が鹿児島に来た時と、地区協議会で宮崎に行った時 友好を深めた。

昭和43年7月~44年5月半算実行額

鹿児島西口ターミナル

収		費目	年向予算額	43.7~44.5 半算実行額	差引減高(△印 増益額)	摘要
入	部	前年度繰越金	169,869	169,869	0	
		前年雜入金	2100,000	2271,500	△ 171,500	上期21,000 <sup>0</sup> ×46名 下期21,000 <sup>0</sup> ×55名
		口-列-助金	66,000	70,950	△ 4,950	上期660 <sup>0</sup> ×46名 下期660 <sup>0</sup> ×55名
		口-列-助金	90,000	255,000	△ 165,000	15,000 <sup>0</sup> ×17名 3,600 <sup>0</sup> ×18名
		口-列-助金	21,600	64,800	△ 43,200	上期350 <sup>0</sup> ×395名 下期500 <sup>0</sup> ×413名
		口-列-助金	343,000	344,750	△ 1,750	預金利息 130
		口-列-助金	19,000	15,015	△ 1,985	455 1/2
		口-列-助金	0	28,750	△ 28,750	
		口-列-助金	0	213,450	△ 213,450	3,750 <sup>0</sup> ×55名 新入金額2,200 <sup>0</sup>
		口-列-助金	0	0	0	
		合計	2807,469	3434,084	△ 626,615	
支	部	人通事務	429,500	417,000	10,500	平均員給料 夏期年末手当 臨時事務給料
		件信用用品	45,000	46,496	△ 1,496	郵便料 電話料等
		事務用品	13,000	15,539	△ 2,539	事務用品一切
		印刷福利	20,000	16,700	3,300	公式訪問報告書等 印刷代
		生福	20,000	18,926	1,074	健康保険料 厚生年金 失業保険料
		福利	10,000	4,840	5,160	車代
		教育	7,000	6,370	630	新聞代 会費名簿代
		賞賞資料	72,000	66,000	6,000	6,000 <sup>0</sup> ×110名
		小計	614,500	591,871	22,629	
		出	専員	出金取親	50,000	38,350
席員	席員	1,000	720	280	合同手帳代 印刷代	
奨励	奨励	6,000	12,750	△ 6,750	取替分表印刷代(2回分)	
考類	考類	100,000	128,963	△ 28,963	贈答祝 経歴記念祝 旅行費 旅費代 印刷代	
贈類	贈類	50,000	31,500	18,500		

の 部	公 商 係	報 誌 誌 任 任 任 任 任 計	20.000	17.450	2.550	カハチ一用信、ロ一リ一子帳、文獻以
		報 業 會 少 除 小	5.000	1.500	3.500	報通周休、合會費
		報 業 會 少 除 小	120.000	116.450	3.550	ロ一リ一の友以、5月協記念特集、回報用紙以
		報 業 會 少 除 小	30.000	24.780	5.220	優良従業員表彰記念品以、130
		報 業 會 少 除 小	70.000	98.750	△ 28.750	防犯灯建設基金、水保病患非推多寄付、ロ一外費
		90.000	92.682	△ 2.682	ワ一ダ一ア一ガ一ル真礼金、1イ一ア一外周休以、130	
		80.000	94.130	△ 14.130	交換学生党入互礼金、万回協分礼金、130	
		622.000	658.025	△ 36.025		
の 部	國 際 名 商 係	人頭分礼金	119.520	125.280	△ 5.760	上期1080°×44人 下期1440°×54人
		ロ一リ一取回寄付金	18.000	18.000	0	360°×50人
		ロ一リ一取回寄付金	21.600	64.800	△ 43.200	3.600°×18人
		米山記念共済寄付金	28.200	29.400	△ 1.200	上期300°×44人 下期300°×54人
		小計	187.320	237.480	△ 50.160	
の 部	地 区 商 係	地区大、公	55.000	60.000	△ 5.000	分礼金1,000°×45人 出席者登録料 寄附状以金
		地区協議會	50.000	26.000	24.000	登録料2,500°×8人 合長祥年會共 商店祥年會
		リ一ア一ア一ア一ア一	30.000	28.560	1.440	" 1,500°×4人 施設 商店共 2,520°×3人
		地区貸金	56.400	64.200	△ 7.800	上期600°×44人 下期700°×54人
		地区国際青年會	18.800	19.600	△ 800	" 200°×44人 " 200°×54人
		210.200	198.360	11.840		
の 部	其 他	會議費	50.000	50.918	△ 918	果下合長祥年會登録料、理事公777協議會神以
		合會推備	1000.000	1157.150	△ 157.150	100合會年以 (上期350° 下期500°) 130
		品	30.000	65.290	△ 35.290	前合長、祥年記念品以、米山記念館設立寄付
		品	30.000	13.100	16.900	寄附、年會、退席、合會用紙以、德國RC一記念品以、130
		小計	1110.000	1286.458	△ 176.458	
		63.449	0	63.449		
		2807.469	2972.194	△ 164.725		
			461.890			

## 基金特別負担金予算実行額

収 入	費 目	年間予算額	43.7~44.5 予算実行額	差引残高(△印)	摘 要
		前年度繰越金	136,637	136,637	0
	基金特別負担金	30,000	85,000	△ 55,000	5,000 <sup>10</sup> × 17R
	雑 収 入	8,000	46,721	△ 38,721	預金利息の公費の特許寄付(40,000)
	合 計	174,637	268,358	△ 93,721	
	6月への繰越金		268,358		

## 二工二コ寄付予算実行額

収 入	費 目	年間予算額	43.7~44.5 予算実行額	差引残高	摘 要
		前年度繰越金	0	0	0
	寄付金 収 入	120,000	102,180	17,820	
	合 計	120,000	102,180	17,820	
支 出	一般会計への繰入	0	28,750	△ 28,750	12-71-費補助
	6月への繰越金		73,430		



鹿兒島西下タリトクヲ